

## 生物多様性とは

地球上には、森林や草原、砂漠、河川など様々な環境があり、そこに多くの生物が生育・生息しており、それぞれの環境に適応した生物が、お互いにつながりあい、バランスを取っています。この生物のつながりの豊かさを「生物多様性」といいます。

私たちの暮らしは食べものや薬、遊びの場などいろいろな面で生物多様性からの恵みに支えられていますが、開発や乱獲、外来種の持ち込みなど人間の活動により「生物多様性」が危機に瀕しています。

なごやにおいても、市街地の拡大や外来種の侵入などによる身近な生態系への影響、消費活動を通じた生物多様性への影響が生じており、生物多様性の保全への取り組みが必要となっています。



## なごや生物多様性センター Nagoya Biodiversity Center

- 住所** 〒468-0066  
名古屋市天白区元八事五丁目230番地  
(地下鉄塩釜口駅2番または3番出口から徒歩5分)
- 電話** 052-831-8104 (平日 8:45~17:30)
- FAX** 052-839-1695
- E-mail** bdnagoya@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

なごや生物多様性センターウェブサイト

なごや生きものライブラリー

<https://ikimono.city.nagoya.jp/>



なごや生きものライブラリーには  
こちらからアクセスできます

なごや生物多様性保全活動協議会

ウェブサイトを

<https://bdnagoya.jp>



# なごや 生物多様性センター



カヤネズミ



ハッチョウトンボ



クロミノニゴリ



オワリサシショウウオ



ヒバカリ



ニホシシガメ



ガガバタ



アカギツネ



ニホシアカガエル

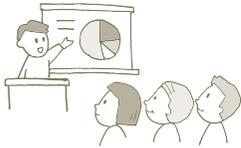


ミナミメダカ

# センターの役割

センターでは、なごやの生きものに関する情報を次世代に伝えるために収集・発信を行うとともに、市民・専門家・行政の協働によるなごやの身近な自然の調査・保全活動を推進していきます。

## 生きもの情報の収集・発信



- 名古屋市版レッドリスト・レッドデータブックなごやの改訂を行っています。
- 標本の収蔵とそれを活用した出前講座などを行っています。
- 機関誌「なごやの生物多様性」やニュースレター「生きものシンフォニー」を発行しています。
- ウェブサイト「なごや生きものライブラリー」で生きもの情報を発信しています。
- なごや生物多様性センターまつり、生物多様性カフェなど普及啓発イベントを開催しています。

## 市民との協働による生きもの調査



- なごや生物多様性保全活動協議会をはじめ、NPO、専門家等と協働し生物調査、外来種防除等の保全活動を推進しています。
- アライグマ、ミシシippアカミミガメ、クビアカツヤカミキリなど外来種の防除を行っています。

## 連携・交流とネットワークづくり



- 研究機関や大学などとの相互協力を進めます。
- なごや生物多様性保全活動協議会や他の団体などの情報交流・活動の連携を進めます。
- 調査・保全に取り組む市民活動団体などの活動を支援します。
- なごや生物多様性センターまつり、生物多様性ユースひろばなど多様な主体との連携の場を設けています。

## 標本の収蔵と活用

### 標本を収集・保管する目的

1. 生きものが生育・生息した証拠を後世に伝える
2. なごやの生物多様性の重要性を普及啓発する

現在、センターには「動物標本室」「植物標本室」「液浸標本室」の3つの標本室があり、集められた標本は、分類群や種類に応じて専用の標本室で管理されています。

収蔵された標本は、なごやの希少種や外来種などの調査に加え、生物多様性について普及啓発するための出前講座や環境イベントでの展示に活用されています。



# センター設立の背景

名古屋市では、都市化の進展に伴う市街地の拡大や外来生物の侵入などによって、生物多様性が失われてきました。一方、自然環境を保全する市民の活動は地道に行われてきました。

2010年10月に愛知・名古屋で開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)を契機として、市民の生物多様性に対する認知度が向上し、身近な自然を守り育てる活動が更に活発になりました。

なごやの身近な自然を継続的に調査することで生物多様性の現状を把握し、保全を実践する“なごや生物多様性保全活動協議会”が設立され、その後、市民・専門家・行政の協働によるなごやの身近な自然の調査・保全活動を推進するとともに、なごやの生きものに関する情報を次世代に伝えるために収集・発信する拠点施設として“なごや生物多様性センター”が設立されました。

## 沿革

年月	事業	※なごや生物多様性保全活動協議会との連携事業を含む
2011.5	なごや生物多様性保全活動協議会設立	
2011.9	なごや生物多様性センター設立	
2011.11	池干し初実施	
2012.1	ニュースレター「生きものシンフォニー」発行開始	
2012.1	なごや生きもの一斉調査初開催	
2012.8	なごや生物多様性サマースクール初開催	
2013.8	生物多様性カフェ初開催	
2014.2	機関誌「なごやの生物多様性」創刊	
2014.3	アライグマの捕獲事業開始	
2014.5	なごや生物多様性センターまつり初開催	
2015.3	「名古屋市版レッドリスト2015」公表	
2015.4	「レッドデータブックなごや2015」公表	
2015.11	生物多様性ユースひろば初開催	
2019.9	森林環境譲与税を活用した森林保全体験事業初開催	
2020.3	「名古屋市版レッドリスト2020」公表	
2020.3	ウェブサイト「なごや生きものライブラリー」開設	
2021.9	なごや生物多様性センター設立10周年	
2021.12	動物標本室整備	
2022.1	10周年記念シンポジウム開催	
2022.3	10周年記念誌「10年のあゆみ」発行	
2022.3	ビオトープ・生息域外保全エリア整備	